

上野台中学校区部会としての現時点でのまとめについて

1 グループ協議における主な内容について(第1・2回部会会議録より抜粋)

保護者グループの主な意見	協議した課題	地域グループの主な意見
<p>①人を増やす工夫をしつつ、小規模校の良さを活かした教育を進めてほしい。</p> <p>②今後、めざす学校像の共有を図っていききたい。</p>	<p>めざす学校像について</p>	<p>①小規模の良さについても説明をするべき。大規模校と小規模校の良さを統合するということがベースになるよう、しっかりと伝えていってほしい。</p>
<p>①上野台中の課題（部活動、教職員体制、子どもの成長等）の解決のため、学校再編は必要である。</p> <p>②「学校再編の行政案（上野台中と八景中の統合）」を検討するための条件として、充実した施設、通学手段の確保、通学路の安全対策、学習支援等について検討する必要がある。</p> <p>③「学校再編のその他の方策（過去に検討した4案等）」の評価・検証が必要である。</p> <p>④行政案以外の再編案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松が丘・三輪小校区を上野台中校区に変更する案について、地域（志手原小・高平小校区）に賛成の声が多かった。あとに残る三田小・八景中は小中一貫校を検討すればどうか。 ・松が丘・三輪小校区の変更については、相手のあることなので、八景中のことも考え検討する必要があるのではないか。 ・新三田付近に上野台・藍・長坂中学校の3校を統合新設した場合の経費はどれぐらいかかるのか。 	<p>行政案（上野台中・八景中の統合）やその他の方策について</p>	<p>①基本的には、学校の再編に賛成である。</p> <p>②上野台中の課題（部活動、子ども人口の減少等）の解決を急ぐべき。適正な人数がいるほうが教育には良い。1日も早く統合し、チャレンジできる環境を整えてやるべきである。</p> <p>③もし、八景中との統合が難しければ、その他の方策についても柔軟に検討する必要がある。</p>

<p>①「八景中校区に新設」という行政案は、八景中寄りの案ではないか。</p> <p>②通学手段（バス）の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に支障がないように、教育活動に配慮したバスの確保は必須。 ・遠距離通学の基準（4km）についても柔軟に対応してほしい。 ・地域交通の確保との両立を考えながら、通学手段の確保を考えていくべきである。 	<p>新設校の場所・通学手段および通学の安全確保について</p>	<p>①新設校は八景中校区ありきで話があるが、できれば、八景中と上野台中の直線距離上の中心（上野台中と八景中との境に近い場所）に作ってほしい思いである。</p> <p>②再編に賛成だが、通学手段の確保（スクールバス）が課題である。スクールバスの運行により、路線バスが減便、廃止になると地域は困る。三田市全体としての交通体系を考えていくべきである。</p>
<p>①在学している子どもたちや、再編の当事者になる子どもたちへのケアも必要である。</p> <p>②保護者の不安の声も大変多い。それに対する十分なケアをしてほしい。</p>	<p>子ども・保護者へのケアについて</p>	<p>①統合するにしても、小規模校の子どもたちが「肩身の狭い思い」をしないようにしてほしい。</p> <p>②今の子どもたちへの対応策が4点しか示されていない。策が少なすぎるのではないか。</p>
<p>①協議の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の質問に対する回答や行政案に至るプロセスについて丁寧な説明を求める。 ・市がリーダーシップを持ち、スピード感を持って協議を進めてほしい。 ・具体的なことは再編準備会の中での話になっていくであろうが、各論での方向性が見えなければ、結論は出しにくい。できるだけ具体的な方策を示してほしい。 <p>②今後の協議の方向性（どのように結論を導いていくのか）を示してほしい。</p>	<p>その他（協議の進め方など）</p>	<p>①上野台中学校の課題の説明が多いが、良い面もあるので、両面から説明してほしい。</p> <p>②市がスピード感、リーダーシップを持って、協議を進めてほしい</p> <p>③幼稚園の再編については、地域に説明なく示された。市の姿勢は一方的で全く信用できない。地元で丁寧に説明する姿勢がないと、中学校の再編についても異を唱えざるを得ない。</p> <p>④次回、グループ協議を繰り返すのではなく、上野台中の保護者と地域が全体で話し合う機会を設けてほしい。その後、八景中学校区と合同で話し合う場を持つべきではないか。</p>

2 部会まとめ

【学校再編についての総合的な見解（行政案の賛否も含めて）】

協 議 内 容

参 考(第1・2回部会会議録および資料より抜粋)

【課題1】めざす学校像について

【会議録要旨】

- ①「大規模校と小規模校の良さ」を活かした教育の推進が大切。
- ②統合に向けて、めざす学校像の共有が必要。

【事務局説明】

○めざす学校像として「2校の良さ・特色を生かした学校」(ICT、生徒指導、生徒会活動、特別支援教育など)、「保護者・地域に支えられ、地域とともに歩む学校」(コミュニティ・スクールのモデル校)、「三田市の中核となる、地域・保護者・生徒・教職員が誇りに思える学校」などを想定。その実現のために、行政としてもできる限りの支援を行う。

【課題2】 行政案（上野台中・八景中の統合）やその他の方策について

【会議録要旨】

- ①上野台中の課題（部活動、教職員体制、子どもの成長等）の解決のため、基本的には学校再編が必要。1日も早く統合し、子どもたちがチャレンジできる環境を整えるべき。
- ②行政案を検討するための条件として、充実した施設、通学手段の確保、通学路の安全対策、学習支援等について具体的に検討が必要。
- ③八景中校区部会の協議状況も考慮しながら、行政案以外の再編案（松が丘・三輪小校区を上野台中校区に変更するなど）についても柔軟に検討が必要。

【事務局説明】

○行政案に至るまでに①「松が丘小校区を上野台中校区に変更する」②「松が丘小校区・三輪小校区を上野台中校区に変更する」③「上野台中とけやき台中をけやき台中に統合する」④「上野台中・藍中・長坂中を統合し新三田付近に新設校を設置する」などの案を検討。将来的な学校規模および八景中の課題解決の観点から行政案が望ましい。

【課題3】新設校の場所、通学手段および通学の安全確保について

【会議録要旨】

- ①新設校は、八景中と上野台中の直線距離上の中心（上野台中と八景中との境に近い場所）付近に建設を希望。
- ②学校の教育活動に支障がないように、学校の教育活動に配慮したバスの確保が必要。
- ③統合に伴い、場合によっては遠距離通学の基準（4km）についても柔軟な対応を希望。
- ④スクールバスの運行により、路線バスが減便、廃止になると地域は困らないように、市全体としての交通体系を考えていくべき。

【事務局説明】

- 生徒の通学の利便性・安全性を第一に考慮して新設校の場所（候補地）を選定。
- 統合の合意がなされた場合、新設校の開校までに「行政としての決定⇒土地の調査・確保⇒各種申請等の手続き⇒設計・工事⇒開校」の手続きが必要。一定の期間が必要となることから、その間の対応や施設整備等については、「再編準備会(仮)」において協議。
- 通学手段（バス）については、以下の点を考慮して今後具体的に検討。
 - ・学校の時程や部活動、学校行事等、教育活動に支障が出ないよう配慮。
 - ・可能な限り路線バスを活用し、地域交通の維持・確保にも配慮。
 - ・路線バスで対応できない地域については通学バスの確保も含めて、今後事業者等と調整・協議。

【課題4】子ども・保護者へのケアについて

【会議録要旨】

- ①小規模校の子どもが肩身の狭い思いをしないように、子どもたちへのケアが必要。
- ②学校再編に伴う保護者の不安に対するケアが必要。
- ③今の子どもたちへの対応策について、現在の4方策以外にもさらに検討することを希望。

【事務局説明】

- 統合の合意があれば、「再編準備会(仮)」を立ち上げ、子どもたちの負担軽減の方策を地域・保護者と協議ながら実施。生徒・保護者対象にアンケートを実施するなど、課題等を把握し対応策を検討し、実施。
- 統合前の2校の交流を積極的に実施。
- 統合後のクラス編成において、小規模校出身生徒への配慮を検討。
- 各種加配教員（統合、生徒指導、不登校など）、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの配置を検討。
- 一定の学級集団を確保しつつ、教科によって少人数授業などを工夫して実施。
- 同一教科の教員が複数配置できることで研修体制が充実し、教員の資質向上に寄与。
- 現在、小規模校において実施している支援策は以下の通り。今後、学校と相談の上、必要な支援を実施。
 - ・複数免許所持教員や免許外教科担任解消加配の配置。
 - ・部活動指導員の配置、合同部活動へのタクシー代支援。
 - ・通学距離が4kmを超える生徒には、遠距離通学費補助を実施。

【課題5】 その他（協議の進め方など）

【会議録要旨】

- ①委員の質問・行政案に至るプロセスについて丁寧な説明を希望。まちづくり（人をふやす方法）についてもさらなる工夫を希望。
- ②市がスピード感・リーダーシップを持って、協議を進めることを希望。
- ③具体的なことは「再編準備会（仮）」の中での話になるであろうが、各論での方向性が見えなければ、結論は出しにくい。できるだけ具体的な方策の提示を希望。

【事務局説明】

- 地域協議会での協議の内容については地域みなさんにも適切な時期にお知らせしたい。
- 部会・地域協議会については出来るだけ早い時期に意見の取りまとめを行い、具体的な方策の協議に入れるよう努めたい。

3 参考資料(第1・2回部会資料より抜粋)

I 上野台中と八景中の現状と課題について

1 生徒数推計

上野台中生徒数の今後の推移(推計) 令和2年5月1日現在																											
学校名	学年	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14	
		学級数	生徒数																								
上野台中	1年	2	41	1	32	1	23	1	33	1	36	1	27	1	31	1	34	1	21	1	27	1	23	1	17	1	24
	2年	1	37	2	41	1	32	1	23	1	33	1	36	1	27	1	31	1	34	1	21	1	27	1	23	1	17
	3年	2	43	1	37	2	41	1	32	1	23	1	33	1	36	1	27	1	31	1	34	1	21	1	27	1	23
	合計	5	121	4	110	4	96	3	88	3	92	3	96	3	94	3	92	3	86	3	82	3	71	3	67	3	64

* 令和2年度は在籍生徒数を記入。令和3年以降の1年生は、児童の90%が就学すると想定。

八景中生徒数の今後の推移(推計) 令和2年5月1日現在																											
学校名	学年	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14	
		学級数	生徒数																								
八景中	1年	6	203	5	161	5	163	5	163	5	175	5	172	5	169	6	203	5	181	5	184	5	165	5	173	5	194
	2年	4	154	6	203	5	161	5	163	5	163	5	175	5	172	5	169	6	203	5	181	5	184	5	165	5	173
	3年	4	153	4	154	6	203	5	161	5	163	5	163	5	175	5	172	5	169	6	203	5	181	5	184	5	165
		14	510	15	518	16	527	15	487	15	501	15	510	15	516	16	544	16	553	16	568	15	530	15	522	15	532

* R2年度は在籍生徒数を記入。令和3年以降の1年生は、児童の90%が就学すると想定。三田駅前Cブロック開発は考慮済み。

2 部活動の状況

令和2年度 部活動状況				R2.7.10現在				
部活動名	上野台				八景			
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
陸上競技					16	11	21	48
野球					11	8	15	34
サッカー					12	1	10	23
バスケット(男子)	8	8	6	22	6	6	3	15
バスケット(女子)		4	5	9	11	5	8	24
バレー(女子)		3	6	9	16	6	3	25
卓球(男子)					7	11	13	31
卓球(女子)					3	10	2	15
ソフトテニス(男子)	10	6	11	27	30	8	6	44
ソフトテニス(女子)	6	5	3	14	13	14	5	32
ソフトボール					10	6	4	20
剣道	7	4	5	16				
水泳					6	4	4	14
柔道						6	7	13
運動部小計	31	30	36	97	141	96	101	338
吹奏楽	9	3	6	18	18	13	14	45
美術					24	17	14	55
家庭(生活)					7	6	6	19
文化部小計	9	3	6	18	49	36	34	119
合計	40	33	42	115	190	132	135	457

3 通学手段別生徒数（特別支援学級在籍生徒を含む）

通学手段	上野台中	八景中
バス	95人(73.6%) 最長乗車時間約35分	0人
自転車	16人(12.4%) 最長時間約30分	270人(51.3%) 最長時間約40分
徒歩等	18人(14.0%)	256人(48.7%)

4 教職員数（短時間勤務を除く）

職名	上野台中	八景中
管理職（校長・教頭）	2	2
担任、副担任、加配教員	13（うち特支2、生徒指導1、新学習システム1）	34（うち特支5、生徒指導1、新学習システム3、不登校1）
養護教諭、事務職員	2	2
市費職員（校務員、自立支援員等）	3	4

II 学校再編行政案（上野台中と八景中の統合）

生徒数、学級数の推移予測	再編の考え方
<p>①上野台中学校の状況</p> <p>今後の生徒数、学級数の推計では、上野台中学校の平成35年度の生徒数は100人で、すべての学年が単学級（1学年1学級）となり、それ以降もゆるやかな減少が続くと予測されます。</p> <p>②八景中学校の状況</p> <p>八景中学校は、今後も多少の増減はあるものの適正規模を維持すると予測されます。</p> <p>③両校を統合した場合</p> <p>この両校を統合した場合、一時的に適正規模をやや上回る19～20学級程度になると見込まれますが、その後は、適正規模（18学級以下）になると予測されます。</p>	<p>地理的な状況</p> <p>上野台中学校は、八景、上野台中学校区の比較的中央部に近い場所に位置しますが、敷地、校舎規模が小さく700人規模の生徒の受け入れは困難です。</p> <p>八景中学校は、本市の最南端に位置し、国道から学校までの進入路も狭い急坂であり、地理的、地形的な課題を抱えています。</p> <p>歴史的な状況</p> <p>昭和50年に旧八景中学校区の一部〔志手原小学校区、小野小学校区、三輪小学校区の一部（大原）〕が分離し、旧羽束中学校区と合併して、現在の<u>上野台中学校</u>が開校しました。</p> <p>開校の経過から、上野台中学校区と八景中学校区の関係は深いと考えられます。</p> <p>再編案</p> <p><u>「上野台中学校と八景中学校の統合」を進めることとし、上記の地理的、歴史的な状況に加え、八景中学校の生徒数が多数（9割近く）を占めることから、場所は「現在の八景中学校区内」で検討します。</u></p>

Ⅲ 過去に検討した再編案について

①「松が丘小校区を上野台中校区に変更する」

上野台中の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)	31(1)	43(2)
2年	41(2)	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)	31(1)
3年	58(2)	41(2)	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)
合計	144(6)	141(6)	138(5)	146(5)	132(5)	124(5)	114(5)

- 【市の見解】
- ・校区変更をしても適正規模を確保することはできない。
 - ・八景中の課題解消にはならない。

②「松が丘小校区・三輪小校区を上野台中校区に変更する」

上野台中の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)	96(3)	130(4)
2年	105(3)	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)	96(3)
3年	117(3)	105(3)	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)
合計	331(9)	332(9)	338(9)	355(10)	349(10)	334(10)	338(10)

*三輪小校区の生徒数については、マンション建設による生徒数の増加を含む。

- 【市の見解】
- ・適正規模を確保できる見通しである。
 - ・上野台中校区に6小学校、八景中校区に1小学校となる。
 - ・松が丘小・三輪小からの生徒の通学手段の確保が課題である。
 - ・八景中の課題解消にはならない。

【参考】「将来推計生徒数中、上野台中校区(現)および『三輪小校区+松が丘小校区』の生徒数の内訳」

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
上野台中校区(バス通学)	94 (68)	92 (66)	86 (62)	82 (59)	71 (51)	67 (48)	64 (46)
三輪小・松が丘小校区	237	240	252	273	278	267	274

*上野台中校区のうちバス通学生生の人数をR2実績72.1%で計算し()に記載。



通学にバスを利用する場合は、4km以上の遠距離通学が基準となるが、三輪小から上野台中までの距離は3.1kmであり、多くの生徒が対象とならない。徒歩または自転車での通学については、安全面から地域の理解を得ることが困難ではないかと考える。

③「上野台中とけやき台中をけやき台中に統合する」

2校統合後の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)	117(3)	109(3)
2年	184(5)	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)	117(3)
3年	212(6)	184(5)	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)
合計	612(17)	589(16)	542(15)	474(13)	424(12)	404(11)	365(10)

- 【市の見解】
- 適正規模を確保できる見通しである。通学手段の確保が課題である。
 - 路線バスを乗り継ぐ場合、通学時間が1時間を超えるため、スクールバスの確保が条件。
 - 八景中の課題解消にはならない。

④「上野台中・藍中・長坂中を統合し新三田付近に新設校を設置する」

3校統合後の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)	75(2)	70(2)
2年	101(3)	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)	75(2)
3年	110(3)	101(3)	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)
合計	307(9)	315(9)	302(9)	300(9)	270(9)	257(8)	233(7)

- 【市の見解】
- ・市域全体の約4分の3を占める広大な校区となり、通学手段の確保が課題。
 - ・3校を統合しても、R13には8学級となる見込みで、適正規模を下回る。
 - ・八景中の課題解消にならない。

【参考】「3校統合した場合の将来生徒数推計」

*出生数を直近3年間の0歳児の平均とし、社人研の推計率を掛けて算出した人数を入学年度の1年生の人数として推計。

	令和15年	令和16年	令和17年	令和18年	令和19年	令和20年
1年	75(2)	72(2)	69(2)	66(2)	65(2)	65(2)
2年	70(2)	75(2)	72(2)	69(2)	66(2)	65(2)
3年	75(2)	70(2)	75(2)	72(2)	69(2)	66(2)
合計	220(6)	217(6)	216(6)	207(6)	200(6)	196(6)



R15に全校で6学級の小規模校となり、それ以降も生徒数の減少が続くと予想され、新設校を建設することは適切ではないと考える。